

第102期

中間株主通信

2024.4.1 ▶ 2024.9.30

証券コード：6768

Energize
the
Future
100

The 13th Medium-term Management Plan 2022-2024



※中間配当決議通知はがき 郵送終了のお知らせ

当社では昨年まで、中間配当に関する取締役会決議の結果をお知らせするため「中間配当に関するお知らせ」と題した郵便はがきを株主の皆様へご送付しておりましたが、地球環境に配慮した省資源化の観点から、本年より、同はがきの郵送を終了させていただきます。

オンリーワン・カンパニーの 実現を目指します。

株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より当社グループへの厚いご支援を賜り心より御礼申し上げます。

このたびは、中国子会社における会計上の問題につきまして、株主の皆様をはじめ関係各位に多大なるご心配とご迷惑をおかけしましたことを、改めて深くお詫び申し上げます。当社は、この事実を重く、また真摯に受け止め、再発防止に向けた制度、風土改革などに、グループ一丸となって取り組んでまいります。

当中間連結累計期間は、売上高はわずかながら前年同期比で増収となったものの、労務費の増加などから減益となりました。年度後半に向け業績を回復すべく鋭意対応を進めてまいります。

当期の中間配当金は1株当たり5円としました。一方、期末配当金は当初予想を修正し、創業100周年記念配当（基準日3月31日）3円を加えた8円を予定しております。

当社は2024年5月11日に創業100周年を迎えました。長年にわたり事業を継続できたのは、お客様や株主の皆様をはじめとする関係各位からご支援いただいたからにほかなりません。グループ一同、改めて創業の精神と企業理念に立ち返り、信頼回復に励みますので、株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

2024年12月

代表取締役社長兼CEO 浅田 昌弘



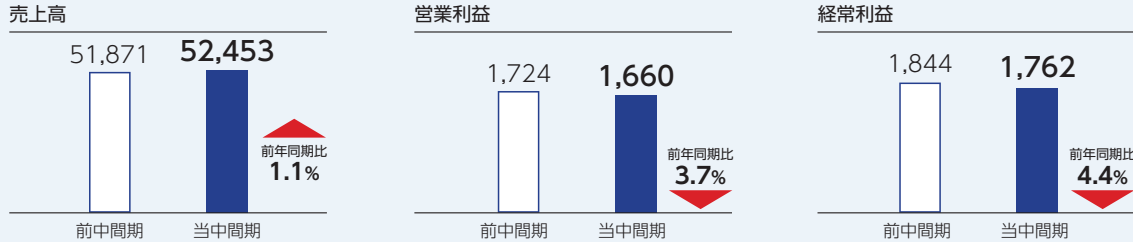
決算情報

業績概況

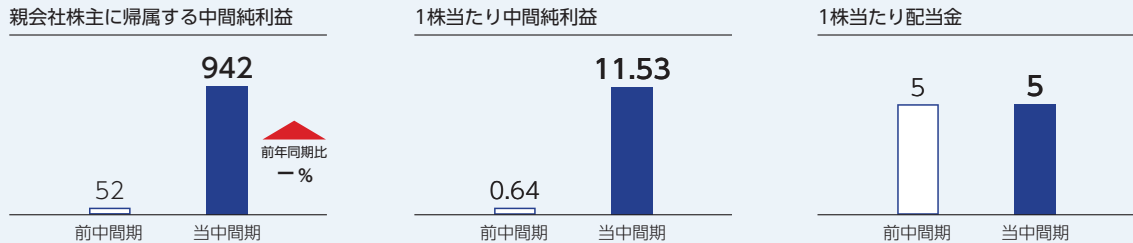
Review of Operations

- ◆ 増収だが、営業利益は労務費の上昇による販管費の増加などにより減益
- ◆ 前年には英国子会社の年金バイアウトに伴う特別損失計上があり、中間純利益は大幅に増加
- ◆ 電子部品は減収減益、電子化学は増収増益、情報機器は増収および赤字幅縮小

■ 連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)

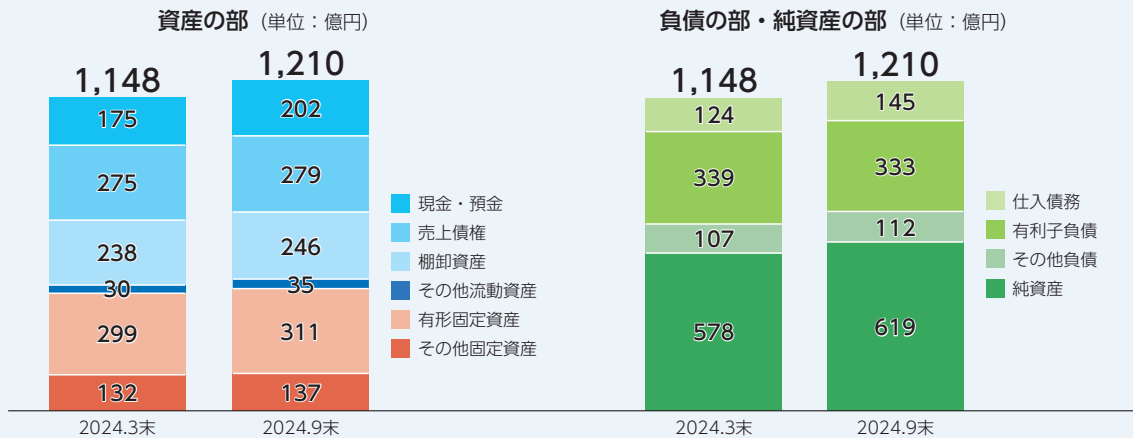


■ 1株当たり情報 (単位: 円)



連結貸借対照表の概要

Summary of Consolidated Balance Sheet



セグメント情報

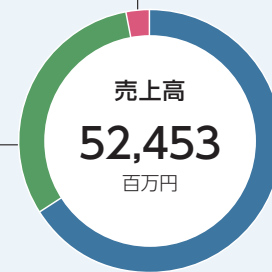
Segment Information

情報機器関連事業 (3%)

1,481 百万円

電子化学実装関連事業 (31%)

16,365 百万円

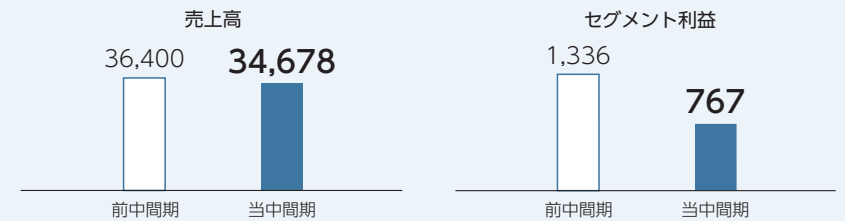


電子部品関連事業 (66%)

34,678 百万円

※各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

■ 電子部品関連事業 (単位: 百万円)



■ 電子化学実装関連事業 (単位: 百万円)



■ 情報機器関連事業 (単位: 百万円)



Key Updates 主なリリース

4月

- ・100周年記念ウェブサイトオープン
タムラ製作所の歴史を写真とトピックス形式で紹介、動画と共にタムラ製作所の歴史を振り返ります

記念ウェブサイト
はこちら↓



- ・メキシコにおける
大型トランスの生産能力増強



タムラグループマスコット
クーニユ

特集

新任取締役兼CSO メッセージ

入社後は、電子化学材料の営業に長く従事し、ASEAN地域の統括職、電子部品事業担当を経て、2024年7月より現職を担当しています。両事業部での経験を活かし、全社横断の戦略立案と実行に取り組んでまいります。

2025年4月から開始する第14次中期経営計画では、第13次中期経営計画からの積み残し課題である、グループ

全体の収益性向上や資本効率の改善に正面から取り組み、持続的な成長と企業価値向上を目指してまいります。

事業戦略などの詳細は
統合報告書「Tamura Report」
をご覧ください。
統合報告書はこちら↓



取締役EVP兼CSO
(最高戦略責任者)
中村 充孝

4月

5月

6月

7月

8月

9月

5月

- ・「東北大学産業連携先端材料研究開発センター」内に研究室を開設
東北大学と共同で実施している次世代半導体用磁性受動部品の研究開発を強化するため、研究室「仙台アドバンスドラボ」を設立。2030年頃の事業化を目指します

- ・「日本の人事部HRテクノロジー」
に働きがい改革の取り組み紹介

- ・創業100周年記念駅広告を掲載
掲載場所 東武東上線 若葉駅
西武池袋線 大泉学園駅



西武池袋線 大泉学園駅の広告

7月

- ・「GitHub」に業務効率化の
取り組み紹介

8月

- ・当社支援の女子プロサッカーチーム
「ちふれ AS エルフェン埼玉」来社

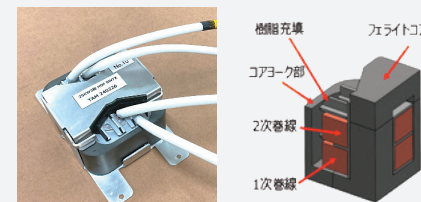


当社に設置の
エルフェン
ラッピング
自動販売機に
サインする
祐村選手（※）

9月

- ・輻射ノイズ（近傍磁界）50% 低減
したスイッチングトランスを開発

独自のコア形状と巻線構造で小型化を実現。高効率・小型高密度な設計を可能にし、機器の性能向上およびコスト削減に寄与します



※エルフェンラッピング自動販売機は、(株)伊藤園と(株)エルフェンスポーツクラブのコラボ企画であり、サインの了承を得ています。

会社の概況 (2024年9月30日現在)

■ 会社名 株式会社タムラ製作所
TAMURA CORPORATION

■ 創業 1924年5月11日

■ 設立 1939年11月21日

■ 資本金 11,829百万円

■ 従業員数 連結 4,403名 単独 897名

■ ホームページアドレス
<https://www.tamura-ss.co.jp/>

■ 本社 東京都練馬区

■ 事業所 埼玉県(坂戸市・入間市・児玉郡・狭山市)

■ 取締役 (2024年9月30日現在)

代表取締役社長 浅田 昌弘 筆頭社外取締役(監査等委員) 窪田 明

取締役 橋口 裕作 社外取締役(監査等委員) 渋谷 晴子

取締役 齋藤 彰一 社外取締役(常勤監査等委員) 今村 昌志

取締役 中村 充孝 社外取締役(監査等委員) 豊田 明子

取締役 田村 陽平 取締役(常勤監査等委員) 横山 雄治

株式の概況 (2024年9月30日現在)

■ 発行可能株式総数252,000,000 株

■ 発行済株式の総数82,253,101 株 (自己株式 518,372 株を除く)

■ 株主数25,642 名

■ 大株主(上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,830	13.16%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	4,129	5.02%
タムラ協力企業持株会	3,660	4.45%
株式会社三井住友銀行	3,200	3.89%
株式会社みずほ銀行	1,999	2.43%
タムラ製作所従業員持株会	1,223	1.48%
タムラ開発有限会社	1,161	1.41%
JP MORGAN CHASE BANK 385781	1,068	1.29%
住友生命保険相互会社	1,018	1.23%
日本生命保険相互会社	1,000	1.21%

(注) 持株比率は、自己株式 518,372 株を除いて算出しております。

株主メモ

■ 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

■ 定時株主総会 毎年6月開催

■ 基準日 定時株主総会 毎年3月31日

期末配当金 毎年3月31日

中間配当金 毎年9月30日

そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

■ 公告方法 電子公告
<https://www.tamura-ss.co.jp/jp/finance/index.html>

■ 株主名簿管理人
および特別口座
の口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

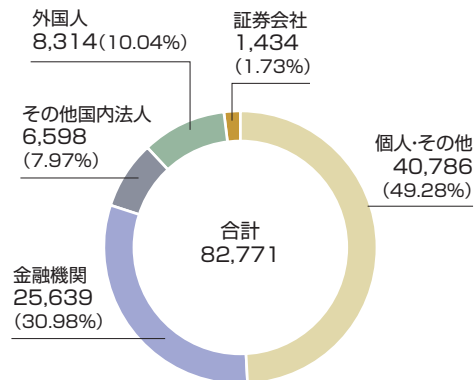
■ 株主名簿管理人
事務取扱場所
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

■ (郵便物送付先)
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

■ (電話照会先) ☎ 0120-782-031

■ (インターネット)
ホームページURL
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

■ 所有者別株式分布状況(単位:千株)



(注) 自己株式 518,372 株 (0.62%) は個人・その他に含まれております。

